

24-6 カムイユカラ

「ポンオキクルミ ヤイエイソイタク (ハラカッコク)」

小オキクルミが自ら物語る

語り：黒川てしめ

サケへ V=ハラカッコク

V=harkakkok

V トウトウツ サボ^o ツツドリのお姉さん

V tutut sapo

V イレシパ キ ワ が私を育てて

V i=respa ki wa

V オカアン ヒケ 私たちは暮らしていたが

V oka=an hike

V トウトウツ サボ^o ツツドリのお姉さん

V tutut sapo

ポン トウトウトウタラ 年若いツツドリたちや

pon tutut utar

V ポン カッコク ウタラ 年若いカッコウたちと、

V pon kakkok utar

V トウラノ ネシ すっかり一緒に

V turano nesi

V シノタナクシ 私が遊んでいると

V sinot=an akus

V エネ ハウエオカ ヒ 次のように言った
V ene haweoka hi

V 「ケライ ネ クスン 「さすが
V “keray ne kusun

V トイ シッチレ 土焼き
V Toy sitcire

V ムイ シッチレ 草焼き
V Mun_ sitcire

ハラ……
har...

(女性：ストーブつけてあげるからね、石油ストーブ)

(萱野：ん？)

(女性：石油ストーブあるの)

(萱野：いや、何も、もうすぐ終わるからいいよ)

(女性：あ、いいの？)

(萱野：うん)

エ……
e...

エペヌプル ペ 霊力が強いもの
ep enupur pe

V ネ プ ネ クス であるので
V ne p ne kusu

V イキ パ」 セコロ そのようにしている」と
V iki pa” sekor

V イイエ パ ヒケ 私に言うことに
V i=ye pa hike

V イネアプ クスン なんとまあ
V ineap kusun

V アルシカ クス 私は腹を立てたので
V a=ruska kusu

V フマシ ヤッカ (?) そう思っても (?)
V humas yakka(?)

V 「ネプ タイペヘ 「何の子ども
V “nep taypehe

V ネプ サニケ 何の子孫が
V nep sanike

V アネ ワ クス 私であって
V a=ne wa kusu

V アイレス ルウエ 私は育てられたの
V a=i=resu ruwe

V ネ ワ クス であるので
V ne wa kusu

V ハワシ」 セコロ そう言っているのか」と
V hawas” sekor

V ヤイヌアン クス 私は思ったので
V yaynu=an kusu

V オロワノ V orowano	それから
V タン パラパラク V tan paraparak	このような泣きわめく
V ハウエ アシ…… V hawe as…	声を…… (?)
アエサナニニ a=esananini	長く引いて私は泣き、
V クンネ ヘネ V kunne hene	夜も
V トカプ ヘネ V tokap hene	昼も
V チサナイネ V cis=an ayne	私は泣いているうちに
V アコロ サポ V a=kor sapo	私のお姉さん
V カッコク サポ V kakkok sapo	カッコウのお姉さんが
V カムイ タマサイ V kamuy tamasay	神様の首飾り
V サナサプテ V sanasapte	を出してきて
V ヘサシ アトウ V hesasi atu	前のほうへ (首飾りの) ひも

V イワナテリキン V iwan at erikin	六本のひもでつるし上げ
V ヘマカシ アトゥ V hemakasi atu	奥のほうへ（首飾りの）ひも
V イワナテリキン V iwan at erikin	六本のひもでつるし上げて
V カムイ タマサイ V kamuy tamasay	神様の首飾り（数珠つなぎの玉）が
V ノシキケヘ V noskikehe	真ん中に
V ポロ タマサイ V poro tamasay	大きな首飾り（数珠つなぎの玉）が
V エオコク カネ プ V eokok kane p	ひっかかって（ひもに通して）いるものを
V イコレ キ コロ V i=kore ki kor	私にくれると、
V 「タンペ タシ V “tanpe tasi	「これこそ
V アレシパ ピト V a=respa pito	私が育てたお方、
V アエコレ クス ネ ナ V a=e=kore kusu ne na	あなたに与えますから、
V イテキ チシ ワ V iteki cis wa	（もう）決して泣かないで

V イコレ ヤン」セコロ V i=kore yan” sekor	ください」と
V ハウエアニケ V hawean h_ike	(カッコウのお姉さんは) 言ったが
V アテクサイカレ V a=teksaykare	私は(首飾りを) サッと手に取って、
V アッ ニコロ V at nikor	ひもの間
V アウレクシパレ V a=urekuspare	に私の足を通し、
V アトウイパトウイパ V a=tuypatuypa	私はひもをブチブチ切って
V キワ ン…… ム V ki wa n... m	
V アナン アクス V an=an akusu	いたところ
V エネ イタキ V ene itak h_i	このように言うことには
V トウトウツ サポ V tutut sapo	ツツドリのお姉さんが
V アリ コラチ V ari koraci	そのように
V トウ ピリカ クニ プ V tu pirka kuni p	二つの良いこと (=いろいろなこと)

V イエパカシヌ コロ V i=epakasnu kor	を私に教えると
V カムイ タマサイ V kamuy tamasay	神様の首飾り、
V ヘサシ アトウ V hesasi atu	前のほうへ（首飾りの）ひも
V エリキン クニ プ V erikin kuni p	でつるし上げたもの
V イコレ コロカ V i=kore koraka	を私に与えたけれど
V アテクサイカレ V a=teksaykare	私は（首飾りを）サッと手に取って
V アッ ニコロ V at nikor	ひもの間
V アウレクシパレ V a=urekuspare	に私の足を通し、
V アトウイパトウイパ V a=tuypatuypa	ひもをブチブチと切って
V アムソ クルカ V amso kurka	何も敷いていない床一面
V アエチャリチャリ V a=ecaricari	に私は散らばして
V キ ヒ アクス V ki hi akusu	しまった。すると

V カッコク サポ カッコウのお姉さんは
V kakkok sapo

V エネ イタキ このように言った
V ene itak h_i

V エネ……
V ene…

「エアン クシ タプネ 「お前がいるためにこのように
“e=an kus tapne

V アポウタリ ネ ア プ 私の子供たちであったもの
V a=poutari ne a p

ポン カッコク ウタラ 若いカッコウたちや
pon kakkok utar

V ポン トウトウトウタラ 若いツツドリたちが
V pon tutut utar

V ネノ イェ パ クシ そのように言ったので
V neno ye pa kus

V チサナイネ 私はさんざん泣いて、とうとう
V cis=an ayne

オピッタ レクチ (ツツドリの姉さんは) みんなの首を
opitta rekuci

ノイパノイパ ワ イサム しめてしまった
noypanoypa wa isam

V キ パ ロク ペ のだが、
V ki pa rok pe

V エアン クシ タプネ V e=an kus tapne	お前がいるためにこのように
V テエタ カネ V teeta kane	むかしむかし
V カムイ モシツ タ V kamuy mosir_ ta	神様の国で
V カッコク トノ V kakkok tono	カッコウの神様や
V トウトウツ トノ V tutut tono	ツツドリの神様は
V アネ パ ヒネ V a=ne pa hine	私たちであって
V アイヌ モシリ V aynu mosir	人間の国
V アイオラプテ V a=i=orapte	に私たちは降ろされて
V ネ ヒ オロ タ V ne hi oro ta	そこで
V ネ…… V ne…	
ニソシッチウエ nisositciwe	雲の尻が大地を刺すところ（地平線の果て）
V イマカケ タ V imakake ta	その向こうに

V ニツネ カムイ V nitne kamuy	悪い凶暴な神様
V アラウエン カムイ V arwen kamuy	全く悪い神様は、
V カムイ エオナ V kamuy e=ona	神様であるおまえの父親
V コン ラメトク V kor_ rametok	の勇敢さや
V コロ ピリカ V kor pirka	の美しさ
V エケシケ クス V ekeske kusu	を妬んで
V コイキ クス V koyki kusu	いじめるために
V ヤプ ルウエ ネ V yap ruwe ne	(人間の国に) 降り立ったのだ
V エヌネ ヒケ V enune hike	このようにして
V ネ ヒ オロ タ V ne hi oro ta	そこで
V パクノ エアシリ V pakno easir	それこそこれほど
V イオマプ ルイ ペ V iomap ruy pe	ひどく子供をかわいがるものは

V イサム クニ プ V isam kuni p	いないものが
V アネ プ ネ クス V a=ne p ne kusu	私たちであるものだから
V アエレス ポカ V a=e=resu poka	私たちはおまえを育てるだけでも
V エヤイコラム V eyaykoramu	長い間苦勞して
V エペテッネ アイネ V epetetne ayne	育てたが
V パクノ エポロ プ V pakno e=poro p	ここまでおまえが大きくなったことを
V アポウタリ V a=poutari	私たちの子供たちは
V ネノ ハウエオカ V neno haweoka	そのように言った
V ネワ アン ペ V ne wa an pe	そのこと
V エルシカ ア クス V e=ruska a kusu	でおまえが腹を立てて
V エキ ワ クス V e=ki wa kusu	おまえがしたので
V フン…… V hun…	

アポウタリ a=poutari	子供たち
V アロンヌ キ ワ V a=ronnu ki wa	を殺して
V イサム キ ヒケ V isam ki hike	しまったのに
V ネウナイエ ヤッカ V neun a=ye yakka	どのように私が言っても
V エコパン キ ワ V e=kopan ki wa	おまえは（悪口を言われたこと）を嫌がって
V ナニ ネノ エキ ヤク V nani neno e=ki yak	すぐに、そのままおまえが嫌がっていれば
V アッテイネ シリ V atteyne sir	全く湿ったところ
V アラウエン モシリ V arwen mosir	全く悪い国
V アイコキル V a=i=kokiru	に私たちは向かわせられる
V キ クス ネ V ki kusu ne	ことだろう
V キ クシ ネ セコロ V ki kus ne sekor	（そう）することになっていると
V ハワシ クス V hawas kusu	言う話なので

V タネ アナクネ V tane anakne	今は
V アラウエン カムイ ネ V arwen kamuy ne	全く悪い神様として
V アラウエン モシリ V arwen mosir	全く悪い国に
V アイコキル パ ヤッカ V a=i=kokiru pa yakka	私たちが向かわされても
V カムイ オツ タ V kamuy or_ ta	神様のところに
V アラ イワク モシリ V ar iwak mosir	XXX (?) 国に
V アオパイェ キ ワ V a=opaye ki wa	私たちは行って
V カムイ モシリ ワノ V kamuy mosir wano	神様の国から
V アラウエン モシリ V arwen mosir	全く悪い国
V アラウエン コタン V arwen kotan	全く悪い村
V アイコキル プ ネ ナ」 V a=i=kokiru p ne na”	に私たちが向かわされるのだよ」
V セコリタク コロ V sekor itak kor	と言いながら

V マツ……

V mat…

マッコサンパ
matkosanpa

パッと立ち上がった

V タラ……

V tar…

イサム ペ シユク
isam pe siyuk

亡くなった者の着物

V ライ ペ シユク

V ray pe siyuk

死んだ者の着物

V キ ワ オラ

V ki wa ora

を着て、

V カッコク サポ

V kakkok sapo

カッコウのお姉さんや

V トウトウツ サポ

V tutut sapo

ツツドリのお姉さん

V キ ワ オロワ

V ki wa orowa

が死装束を着て、それから

V タラペ ムイエ

V tarpe muye

ござの束を

V エホトウイトウイエ^[1]

V ehotuytuye

うちふるって (?)

V シケ パ ヒケ

V sike pa hike

(お姉さんたちが) 荷物を背負ったが

V

(ここから散文)

「タネ ソモ チサン クシ ネ ネ」

“tane somo cis=an kus ne ne”

「もう私は泣かない」

セコロ ハウエアナン コロ

sekor hawean=an kor

と私は言いながら

カッコク サポ^o トウトウツ サポ^o チンキ ケセ

kakkok sapo tutut sapo cinki kese

カッコウのお姉さんとツツドリのお姉さんの(着物の)すその端

アウコライパ アクス

a=ukoraypa akusu

を私がわしづかみにすると

「ソンノ ネ ヤ アンペ ネ ヤ」

“sonno ne ya anpe ne ya”

「本当か? 真実か?」

イコピシパ

i=kopisipa

(お姉さんたちが)私にたずねた

ソンノ ネ ヒ アンペ ネ ヒ アイェ アクス オロワノ

sonno ne hi anpe ne hi a=ye akusu orowano

本当であること、真実であることを私が言うと

「ケライ ウタラパ

“keray utarpa

「さすが威風堂々とした男性

ケライ ニシパ アネ プ ネ クス エネ ネ」

keray nispa a=ne p ne kusu ene ne”

立派な男性であるものだからこのようである」

シコロ ハウエオカ コロ

sekor haweoka kor

と（お姉さんたちは）言いながら

イオマプ ロク イオマプ ロク コロ

i=omap rok i=omap rok kor

私をかわいがってかわいがってかわいがりつづけながら

オラ ソモ ノ…… スイ

ora somo no... suy

それから（このようなことは）せずに、また

イレシパ ワ オカアン ペ ネ クス

i=respa wa oka=an pe ne kusu

（お姉さんたちが）私を育てているのだから

アイエ セコロ

a=ye sekor

私が話すのです、と

ポノキクルミ イタク ハウエ

pon Okikurmi itak hawe

ポンオキクルミが話したこと

したと（?）。

（萱野：ああ、なるほどな）

【注】

- [1] 「エホトウイトウイェ バタバタ払い」（萱野茂、1988『カムイユカラと昔話』（小学館）：p343）。